一誌一句（受贈誌１・２月号他より）

米田　透　抄出

切株は俳句の小椅子森小春　（未　央）　古賀しぐれ

再発をさりげなく言う小さな声で　（青　穂）　小山　貴子

手を握るのみの介護や夜寒し　（花　苑）　次井　義康

何といふ太さや筵干し大根　（雅楽谷）　中田　水光

風を砥ぐ山の神々ななかまど　（海　光）　林　誠司

不意に来る訃報十二月の真昼　（方　円）　石渡　旬

死といふは他者の死ばかり花ハツ手　（濃　美）　渡辺　純枝

年歩む星座と我と今ここに　（雪　解）　古賀　雪江

水鳥の原動力は水面下　（青　嶺）　木附沢麦青

バリカンの如く稲田のコンバイン　（　道　）　田湯　岬